

**学習活動**

「個別学習」

**活用の目的**

○目で見て、手で触れて、環境に働きかけ、環境の変化(音)を感じる活動を通して、協応性や認知を高める。

**活用の実際と工夫**

- 鍵盤を押す力を必要とせず、いくつもの音が鳴る教材として iPad のアプリ「ピアノ HD」を教材とした。
- 生徒が操作しやすい高さまで教師が iPad を持ち上げ、見たり触ったりしやすいようにした。



iPad のアプリ「ピアノ HD」を活用した。

肢体不自由と知的障害を併せもつ生徒が多いしゃくなげ分教室では、自立活動を中心とした教育課程が組まれている。そこでは「触って感触を味わう」「触って音が出る・映像が出る」という複数の感覚を刺激する教材を中心に活動が組まれている。認知の発達を促すために手や目を使って環境に働きかけたり、他の生徒に関わる活動を重視している。

**活用の効果** ○効果 ●課題

- 叩くことが得意な生徒にとって、触れやすい教材であった。
- 「触る→音が出る」という関係性をもとにディスプレイを叩いていたかどうかは読み取れなかった。
- 生徒の触れやすい位置で固定できる専用の台があると更に使いやすくなる。